

EA163HB (エアーベルトサンダー) 取扱説明書

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂くためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

Ver.1.1

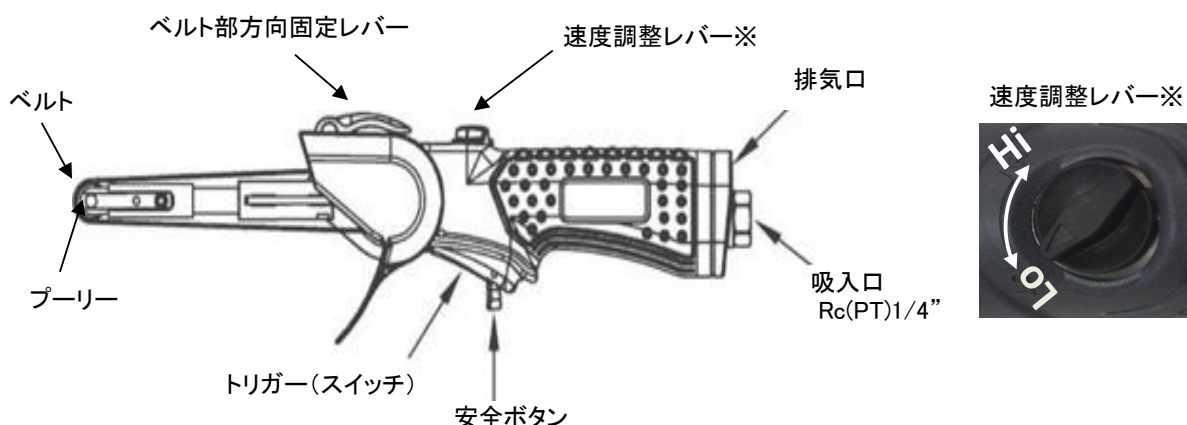
◆仕様

- 全長…325mm
- 回転数…18,000rpm
- エアー消費量…250ℓ/min
- 吸入口…Rc(PT)1/4” (プラグ付)
- 使用ホース内径…8mm
- 騒音値…80db(A) ISO15744
- 重量…770g
- 使用圧力…0.63MPa
- 使用コンプレッサー…2.2kw以上
- ベルトサイズ…10x330mm
- 三軸合成値…2.0 m/s² ISO22867

◆付属品

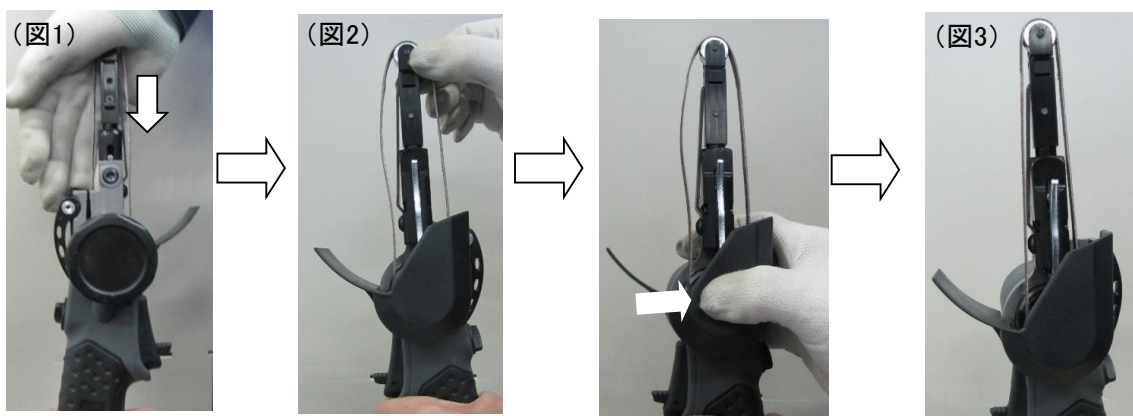
- ・ベルト3本(粒度…#40・#60・#80 各1本)
- ・六角棒レンチ2mm、3mm 各1本

◆各部名称



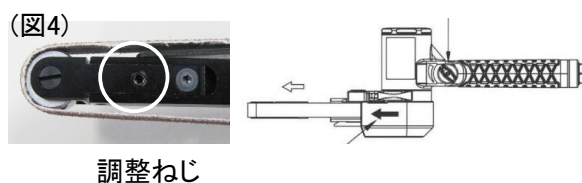
◆ベルトのセッティング

1. プーリー部分を本体方向へ押し込みます。カチッと鳴るまで押し込んで下さい。(図1)
2. 消耗したベルトを外し、新しいベルトをセットします。(図2)
3. ストッパーピンを押してカチッと鳴れば、プーリー部は上に上がります。
4. ベルトがピンと張れば完了です。(図3)



◆トラッキングの調整（ベルトが片寄る時）

ベルトがプーリーの中心にこない時は、付属の六角棒レンチを使用し、プーリーブラケットのネジを緩めたり締めたりして、中心位置に来るように調整して下さい。(図4)



◆ベルト部の向きは 360° 可変です

ベルト方向固定レバーを引き上げると解除されます。作業に合った角度にベルト部を回転させて下さい。レバーを元の位置にしっかりと締めて使用して下さい。

◆使用方法

エアラインに接続し周囲の安全を確認の上、トリガーを握り操作して下さい。

◆安全について

ご使用中、かなりの粉塵等が発生しますので、できる限りの安全防護(安全メガネ、防塵マスクなど)をお勧めします。

◆騒音について

・ご使用中、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等で定める騒音規制値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置を取して下さい。

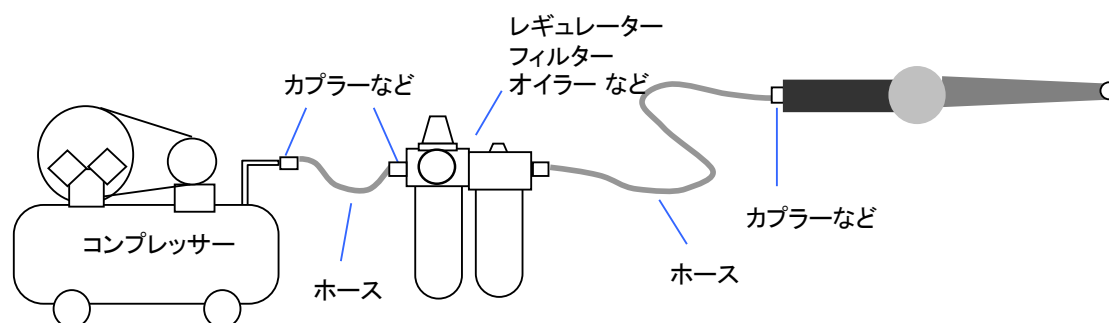
◆メンテナンス

工具を接続する前に(ISO VG 10)くらいのスピンドルオイルを接続口から4～5滴垂らして下さい。粘度の高いオイルを注油しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高いオイルを注油した時は、洗い流して適正オイルを注油して下さい。
(3～4時間の作業毎にオイルを注油すると、工具が長持ちします。)

◆保管

・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルを注して下さい。
・使用しない時はエアホースから工具を外して下さい。
・保管に際しては、湿気のある所は避けて下さい。湿気があると工具内部にサビが発生します。

● 取付け例





安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。
説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業をする前に砥石が確実に装着している事を確認してください。
- ・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。
コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.63MPaです。
- ・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは内径8mmをご使用ください。
エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイルを設置してください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
ホースを延長して使用するほど（7.5m以上）、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・作業時は必ず保護メガネ、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
- ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
- ・絶縁されてない為、電源に接触しないように注意して作業してください。
- ・爆発性雰囲気のある環境下では、エアーツールは使用しないでください。
- ・また圧力のかかったホースには注意してください。
- ・作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。
- ・過度のエア圧力をツールにかけたり、速いスピードでの空回しは工具の損傷の原因になります。
- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアーツールを使用してください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。
だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は、回転部に巻き込まれます。
長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。
手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。
エアホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。
握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアホースを外してください。
① 工具の取り付け、交換 ② 作業終了時 ③ 異常を感じたとき
- ・エアーツールを運ぶときは、エアホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアーツールを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないかを確認してください。
- ・改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合があります。また、ご使用者がケガをする場合、作業行程に支障を来す場合があります。
- ・振動工具の三軸合成値について
仕様欄に数値を記載しています。
日振動ばく露量A（8）は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf>